

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立高津小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	中央区
学 校 名	大阪市立高津小学校
学 校 長 名	柿野 久

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立高津小学校では、第6学年 21名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市内高津小学校の結果概要

- 国語については、正答率が全国平均を少し下回る結果であった。
 - ・「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均を上回った。
 - ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」については、全国平均を下回った。
- 算数については、正答率が全国平均を上回る結果であった。
 - ・「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のすべての領域について、全国平均を上回った。
- 平均無解答率については、国語、算数ともに大阪市平均を下回っており、問題に最後まで向き合おうとする意欲があることがわかる結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】正答率が全国平均を少し下回る結果であった。「情報の扱い方に関する事項」では7.2%、正答率が全国平均を上回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では4.9%、「話すこと・聞くこと」では7.1%、「書くこと」では0.5%、「読むこと」では1.6%全国平均を下回った。特に「話すこと・聞くこと」については、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができていなかった。記述式の問題の正答率は全国平均を上回っており、日常からまとめや振り返りを書く活動が有効であったと思われる。平均無解答率は、全国平均を下回っており、問題に最後まで向き合おうとする意欲が見られた。

【算数】すべての領域において、正答率が全国平均を上回る結果であった。「数と計算」では7.9%、「図形」では16.1%、「測定」では2.9%、「変化と関係」では11.3%、「データの活用」では13.3%全国平均を上回った。今年度は、すべての領域において全国平均を大きく上回ったが、21名という小集団における結果である。また、正答率が高い層と低い層に大きく分かれているのも、本校の数年来の特徴である。平均無解答率は、全国平均を下回っており、問題に最後まで向き合おうとする意欲が見られた。

質問調査より

- ・「学校に行くのは楽しい」について、肯定的回答率が71.4%であり、全国平均を14.3%下回った。「自分には、よいところがある」については、肯定的な回答が85.7%あり、全国平均と同程度だった。この2項目については、本校は毎年全国平均を上回っていたが、このような結果となった。今後も、本校が大切にしている自尊感情の育成が成果となって表れるよう取り組んでいく。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」について肯定的回答率90.4%で、全国平均を大きく上回った。また「分からないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」について肯定的回答率は全国平均を15.8%上回った。学習内容を振り返ったり、話し合ったり考え方を深めたりする活動を継続してきた結果、自分自身で工夫する習慣が身についてきていることを示す結果であると考えられる。
- ・「朝食を毎日食べていますか」については、「当てはまる」の回答が全国平均と同程度だった。本校では数年来下回っていたが、本学年についてはこのような結果であった。

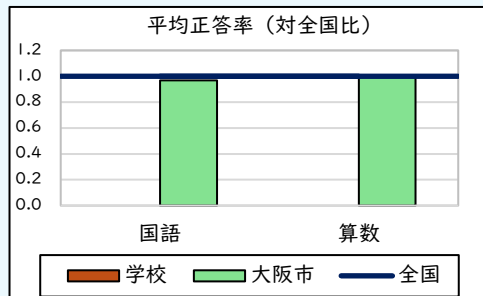
今後の取組（アクションプラン）

- 基礎的・基本的な内容の確実な定着のために、今後も、授業における重点の置き方や反復練習等、手立ての工夫や練習 時間の確保について検討、実践をすすめる。プリント学習やデジタルドリル学習等についても、朝学習や放課後学習に取り入れていく。
- 本校は外国にルーツのある児童が多数在籍し、「書くこと」については、苦手意識を持つ児童が多い。引き続き授業の中で重視していく。その際、目的に応じて適切に資料を選択する力や資料を的確に読み取る力、資料を使って考えをまとめる力を高めることができるようにする
- 授業のなかで、自力解決の時間を確保し、自分の考えをしっかりと持って話し合いの場に臨めるようにする。この時、パソコンも効果的に活用できるようにする。また、ねらいを明確にし、見方・考え方を意識した話し合いを行うことによって、自分の考えをより高め、それを「書く」ことができるようにする。
- 引き続き、読書指導を強化し、国語科の読解指導とあわせ、長文の問題も最後までしっかりと「読むこと」のできる力を高める。また、さまざまな言語活動を工夫し、効果的に授業に取り入れるようにする。
- 各学年の家庭学習について、内容や時間等を検討し、計画的に実施する。また、自主学習についても、「学び方を学ばせること」を大切にし、具体的な例を示しながら学校全体で進められるようにする。
- 学校の教育活動全体を通して、引き続き自尊感情を高められるよう、活動内容の工夫を行うとともに、「できた」ことをしっかりと認めて称賛することを心がける。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

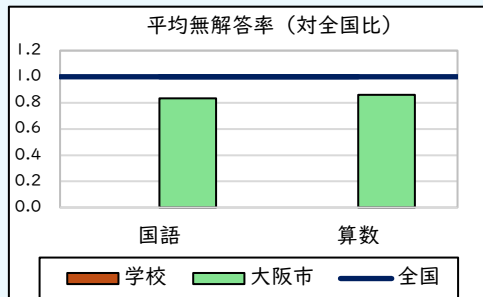
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	-	-
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



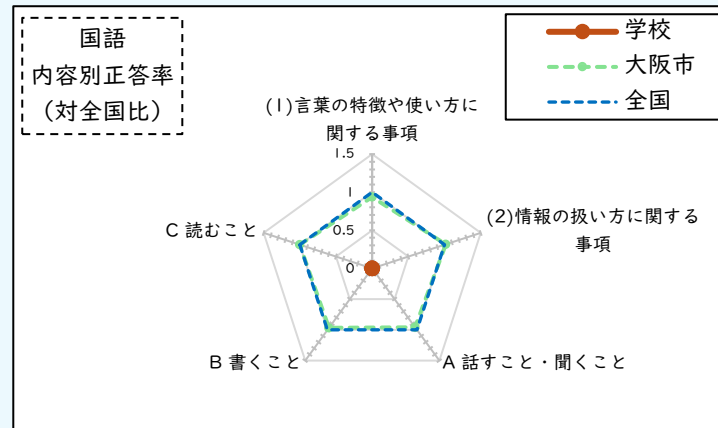
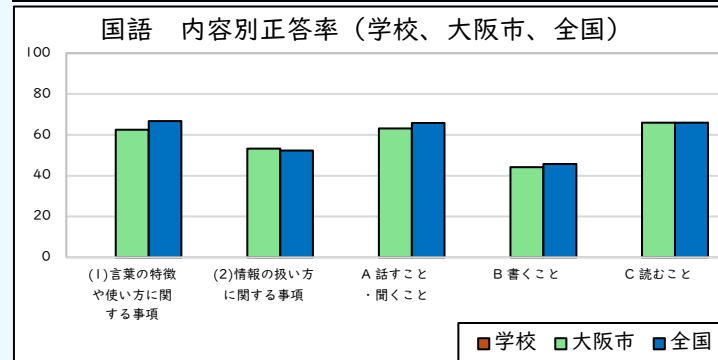
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	-	-
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



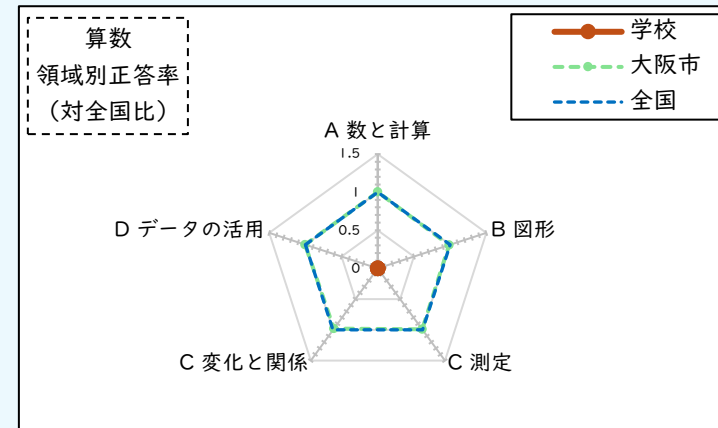
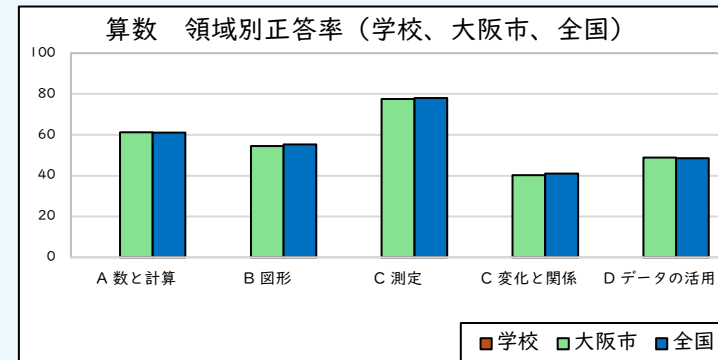
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	-	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	-	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	-	63.1	65.8
B 書くこと	2	-	44.2	45.7
C 読むこと	2	-	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	-	61.2	61.1
B 図形	4	-	54.5	55.3
C 測定	1	-	77.5	78.1
C 変化と関係	3	-	40.3	41.1
D データの活用	4	-	48.8	48.6



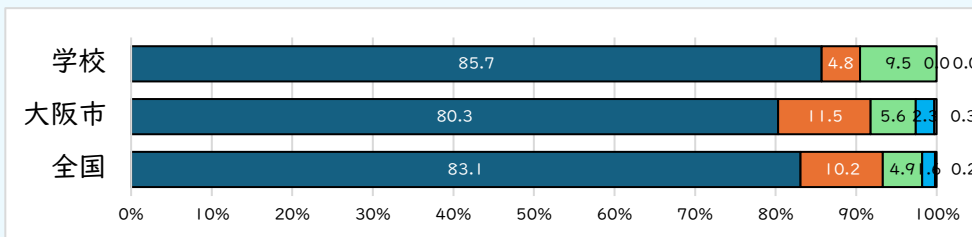
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

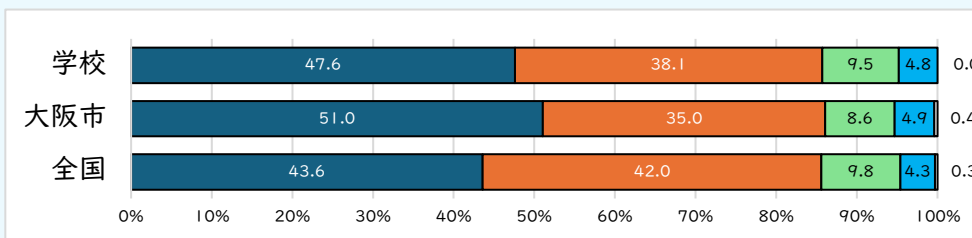
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(1)	朝食を毎日食べていますか
-----	--------------



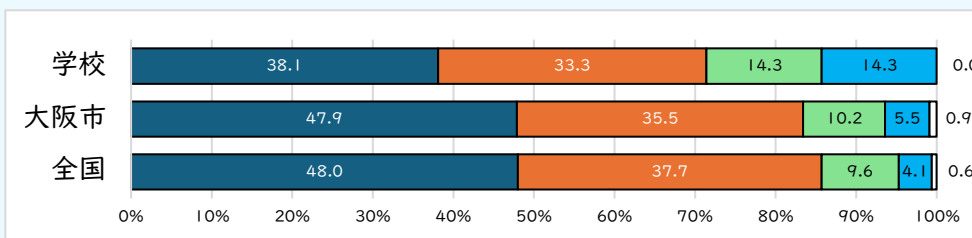
- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



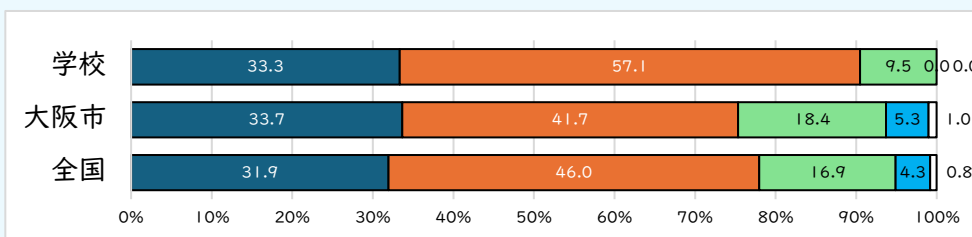
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



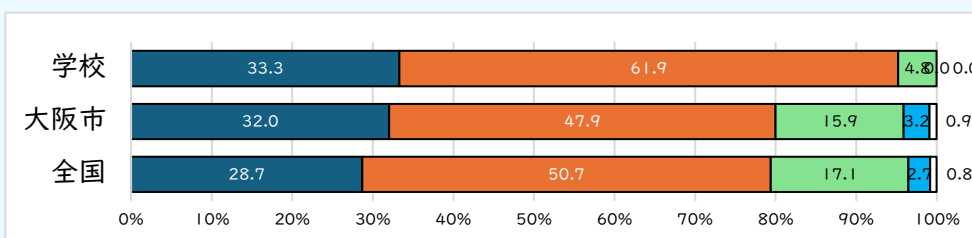
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(16)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
------	---------------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(22)	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
------	--



- 1 できている
- 2 どちらかといえば、できている
- 3 どちらかといえば、できていない
- 4 できていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

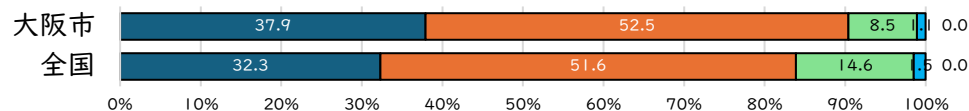
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

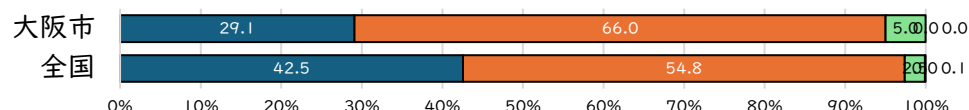


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(17)

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、している

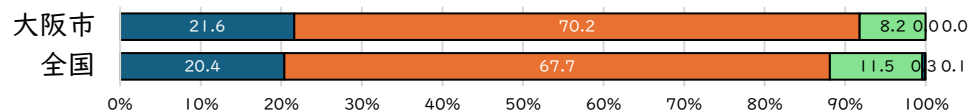


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

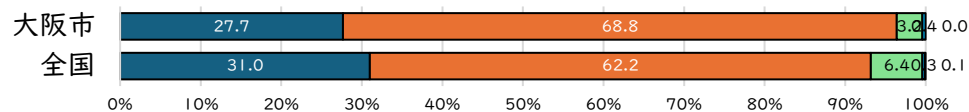


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

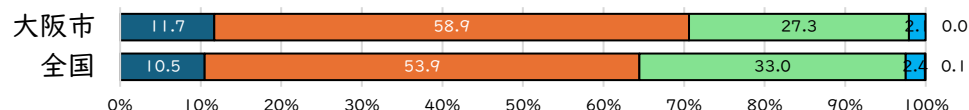


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(30)

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

【学校の回答】 3 どちらかといえば、そう思わない



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない